



4月号
(第366号)



武庫川女子大学
附属中学校・高等学校



**第三期スーパーサイエンス
ハイスクール(SSH)としての責任**
校長 藤森 陽子

清明の 明るくる空や あをあとと 陽子

まずは、中学1年生のみなさん、高校1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また在校生のみなさんも、上級学年に進級し、新たな気持ちで新学期を迎えていることと思います。さて、表題に掲げましたように、昨年度、申請しておりましたSSHの指定が内定しました。58校の申請で、32校(開発型14校、実践型18校)が内定し、本校は実践型18校の中の1校ということになります。今回申請したSSHの研究開発課題は、「未来世代への提言を目指し、女性の科学技術人材を育成するプログラムの開発」です。この研究開発課題に対して、大きく3つのプログラムを構成し、持続可能な開発目標(SDGs)に沿った探究活動を土台にして研究を進めていきます。第1のプログラムは、「知」の高度化による科学的素養の育成です。ここでは、読書100選の取り組みをはじめとして、文系、理系それぞれの枠を超えて、SDGsのテーマから選択した課題について、探究活動を深めたり、CS、CGコースともに活動できるフィールドワークを実践したりすることを計画しています。第2のプログラムは、教科横断型カリキュラムの開発を目的とするもので、主として教科を中心に探究活動を推進していきます。たとえば、「デザインと科学」をテーマとしたもの、あるいは「栄養と科学」をテーマにしたもの、「ロボット科学」をテーマにしたものなどと考えています。第3のプログラムは、グローバル科学技術人材の育成として、英語力を強化し、日本の文化・歴史の学習などを深め、国内の大会などの実績をもとにして国際学会への参加、国際大会への出場を目指すものです。どのプログラムについても生徒の興味・関心を中心としたテーマ選びを行い、主体的・積極的に進めていくことができると考えています。この事業の目指す方向は、地域への貢献と、そして、それが持続可能な社会の実現に寄与できる提言へとつながることを期待しています。SSH事業が円滑に展開できるよう校長として責任をもって推進していききたいと思います。みなさん、ともにこの事業に取り組んでいきましょう。

平成31年度附属中高入学式 新たな一歩を踏みしめて

4月2日(火)花冷えの天候ではありましたが、桜の花に迎えられて、中学1年生(173名)、高校1年生(285名)の新入生たちは元気いっぱい、のように入學式に臨みました。校長の藤森陽子先生は式辞の中で、「二〇一七年度から創造サイエンスコース、創造グローバルコースがスタートして今年度で三年目を迎えます。この二年の間にAI(人工知能)の急速な進展をはじめ、社会の進歩は著しいものがあります。そのため、現代社会は変化の激しい社会に対応できる人材を求めています。変化の激しい社会に対応するには高度な実

践力とモノやサービスを作り出せる『創造力』が必要です。人間の考える力は無限の可能性を秘めており、それにより人間が作り出すものにも無限の可能性が広がります。この秘めていた力をいかに引き出していかかが教育力にあると思います。二つのコースの名称にある『創造』、この『創造力』を育んでいくことこそこれか



らの社会を生き抜く力であると確信しています」と述べられ、「みなさんの夢の実現に向かって、これから始まる学習や学校行事、部活動など一つ一つに全力を注ぎ、充実した学校生活になることを期待しています」と励ましの言葉を新入生に贈られました。新入生代表として、中学は加藤衣莉さんが「小学校で経験したように、中学は仲間との団結を大切に、たとえ失敗してもあきらめない強い心を持ち、附属中学校の生徒としてふさわしい行動ができるように、希望と努力を忘れずがんばります」、高校は奥田清紗さんが「中学生の時に、つらさの中にある本当の楽しさ、喜び、達成感を部活動を通して得ることができた私は、本校の部活動体験の時に先輩方の優しさや一生懸命さに触れたことでさらに成長できると確信しました。将来の夢の実現に向けて新入生それぞれが目標を持ち、努力したいと思っています」と誓いの言葉を力強く述べました。

コーラス部 スペインの国際大会でグランプリ

コーラス部顧問 岡本尚子先生

スペインのリョレトデマルで開催された「Golden Voices of Montserrat-Festonia Milenio (International Competition & Festival)」で、コーラス部がグランプリ(総合第1位)を獲得しました。ロシア、トルコ、エストニア、リトアニア、チェコ、チリなど全12カ国、22団体の参加で、カテゴリー別では44団体が参加した大会でした。

うれしかったのは、総合第1位獲得はもちろんですが、コンクール当日、民族衣装を着た青年や少女の団とともに仲良くなったことです。折り紙を教えたり、一緒に写真を撮ったり、英語で話したり、交流を持てたことがいっばい素晴らしい思い出になりました。

コンクールのあとはバルセロナを訪れました。サグラダファミリアを観光後、夜には一般の方が入れないサグラダファミリアの中の教会でミサに参加して歌えたこと、ミサのあとに信者の方の前で五曲、合唱を歌わせたこと、スタンディングオベーションをしていただいたこと、また、モンセラートの美しい修道院でAve Mariaを歌い、ブラボーの声をいただいたこと、世界一流の音楽家ばかりが演奏できる美しいカタルーニャ音楽堂で思いがけず歌えたことなど夢のような日々でした。

これらはひとえに、学院長先生はじめ武庫川学院と先生方、保護者の皆様、そして応援してくださった多くの方々のお陰と心より感謝申し上げます。その感謝を形にしてお返しすべく、これからもより一層、精進して参ります。



コーラス部 高校3年一同
高3 27名、高2 22名 計49名は、3月23日から31日までスペインでの国際コンクールに行かせていただきました。「Golden Voices of Montserrat-Festonia Milenio (International Competition & Festival)」と呼ばれる国際コンクール、そのほか教会や修道院で合唱をさせていただくことができました。

今回は、三度目の国際コンクール挑戦でした。観客の方や審査員は日本語がわからない方ばかりだろうから、曲の意味が伝わらない分、どのように音楽で表現すればよいかをみんなで考えました。国境を越えての大会で、私たちの実力はどのくらいなのか不安でしたが、出国前と現地での直前練習の成果が実り、みごとグランプリをいただくことができました。日本での大会では身体を使った表現をしたことがありませんでしたが、コンクールに参加していた他の国の団体の多くは、歌だけではなく全身を使って表現しており、とても勉強になりました。また民族衣装に身を包んだ団体ばかりで、そのお国がらわたり、それぞれが自国の衣装に誇りを持って参加されているのだということがよくわかりました。私たちは武庫川の制服に身を包みましたが、この制服も海外では人気で、町中を歩いているだけで、私たちを写真に撮る方もいらっしゃいました。私たち自身、この制服に誇りを持って歌うことができましたし、日本代表、武庫川代表という気持ちでふるまうことができました。

歌だけではなく、スペインの有名な建築物を見に行く機会もありました。世界遺産のサグラダファミリアやグエル公園、カタルーニャ音楽堂、モンセラート修道院などに行き、その場所で歌う機会をいただくことができました。特にサグラダファミリアのミサに参加させていただき、神父様のお話の合間に宗教曲を歌わせたこと、ミサの後コンサートをさせていただいたこと、私たちの歌声で感動してくださっているのが表情で伝わり、言葉がわからなくても音楽で伝わる力があるのだ、ということを目の当たりにし、改めて音楽の力を感ずることができました。国際コンクール挑戦というふだんできない体験は、武庫川コーラス部だからこその素晴らしい経験なのだと、私たちが支えてくださった多くの方々に心から感謝をしています。そしてその感謝の気持ちをこれからの学校や家庭、社会の中で返していけるよう、これからも努力していきます。本当にありがとうございます。



平成31年度がスタート

4月から本校に着任された4名の先生方から生徒のみなさんに向けてのメッセージをいただきました。

小田 裕一郎 先生(英語)
本年度から歴史と伝統ある武庫川学院の一員として皆さんと一緒に学ぶことになりました。学校生活の様々な場面で皆さんを誠心誠意サポートいたします。よろしくお祈りいたします。

濱崎 康子 先生(英語)
英語を使って多くの人と繋がる喜びと豊かさを、生徒の皆さんと共有していけたらと思います。どうぞよろしくお祈りいたします。

辻 颯 先生(保健体育)
昨年度に引き続き保健体育の授業を担当します。部活動は陸上競技部です。皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。よろしくお祈りいたします。

吉位 敬介 先生(情報)
今年度から情報の授業を担当することになりました。皆さんがPCを使いこなせるよう楽しく授業したいと思っています。よろしくお祈りいたします。

- 山田千香子 先生(理科)
榎並 里穂 先生(保健体育)
奥野 喜子 先生(美術)
真鍋久美子 先生(家庭)
東 里玖 先生(英語)
山本 和代 先生(茶道)
川北有紀子 先生(茶道)
川戸こずえ 先生(カウンセラー)

これまで多くの教えをいただき、お世話になった先生方が退任されました。今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

- 稲葉 穂 先生(保健体育)
長谷川 薫 先生(英語)
安福 勝人 先生(英語)
神戸 秀夫 先生(理科)
大藤 潤也 先生(地歴公民)
長船 実幸 先生(保健体育)
塚本 桂子 先生(家庭)
渡邊 裕之 先生(情報)
Alexander Hunt 先生(英語)
Matthew Pockat 先生(英語)
影山 順子 先生(国語)
乾 由香里 先生(数学)
高田 聖 先生(理科)
履輪 まい 先生(音楽)
高原 秀平 先生(美術)
豊澤 友香 先生(家庭)
畑中 淳文 先生(英語)
木村 信吾 先生(英語)
福田 直人 先生(英語)
八木 道代 先生(保健体育)
神吉 伸行 先生(保健体育)
島崎 幸則 先生(学校設定科目)
大川 成子 先生(茶道)
杉島 里美 先生(茶道)

平成31年度 附属中学・高校 学級担任

Table with columns for High School 3, 2, 1 and Middle School 3, 2, 1, listing principals, vice-principals, and class teachers for each grade.

【5月行事予定】

Calendar table for May with columns for Day, Day of Week, and Event Content. Includes events like Constitution Day, Sports Day, and various school activities.

中学1年研修合宿(4/11~12)

中学1年生は丹嶺学苑研修センターで二泊二日の研修合宿を実施しました。一日目は、あいさつや礼儀作法、授業の取り組み方を先生方から指導していただき、野外クッキングやクラスタイム、学年レクを行いました。二日目は学力推移調査の過去問を解いたり、スポーツ大会で力を合わせたりと、充実したプログラムを過ごしました。



☆様々な分野での活躍

作を身につけること」でした。そこで、学習については英語に特化し、難しい英語を読み解き、英語で発表することにチャレンジしました。発表を終えた生徒は、「高校からの新しい友達と一緒にSDGsについて英語の発表をしました。難しい英単語もあり、発表までの準備時間が短かったけれどがんばりました。この発表は、職員やクラス全体で協力したからこそ作り上げることができたのだと思います。これからの学校生活においても、勉強や与えられる役割に対して、友達と一緒にがんばりたいです」と満足げに感想を話してくれました。クラスの親睦を深め、有意義な学校生活をスタートすることができました。



高校1年研修合宿(4/11~12)

高校1年生はホテルグリーンプラザ東条湖で二泊二日の研修合宿を実施しました。今回の研修の目的は、「規律ある集団行動を通してクラスと学年の輪を作ること、高校生としての基本的な学習態度やIT機器操

【コース(高校)部】

Golden Voices of Monserrat-Frieslandia Milenio (International Competition & Festival)
会場 City Hall of Lioret de Mar
Grand-prix (グランプリ) 優勝

【バントワリング部】

第44回全日本バントワリング選手権
3/22~24 会場 丸善インテックアリーナ大阪
岡本 華奈(高3)
アーティスティックトワール(女子シニア)
ソロトワール(女子U-18)
ソロストラット(女子U-18)
出場 第10位